

# 防衛装備庁

## あなたの技術が、 国を守る要となる



### 主な業務内容

防衛装備庁は防衛装備品に関する政策の企画・立案、調達、研究開発などの業務を担う組織です。  
その中で、一般職の研究職技官は主に以下の部署で活躍しています。

研究所（航空装備研究所、艦艇装備研究所、陸上装備研究所、新世代装備研究所）  
防衛装備品の要素技術の研究、システムの研究、試作品の試験・解析を担当

試験場（千歳試験場、岐阜試験場、下北試験場）  
防衛装備品の性能や安全性の試験・評価を担当

艦船設計官（防衛装備庁唯一の設計部署）  
自衛隊が運用する船・潜水艦の設計を担当

### アピールポイント

研究職として働く

#### 国を守るために欠かせない仕事

国防を担う物的基盤である防衛装備品を生み出す。  
確実に国を守るために日々技術を磨きます。

#### 最先端の技術を研究できる

世界最先端の技術を研究・駆使し防衛装備品に反映することで国防へ貢献します。

#### 技術職員から一言

（男性職員）入省1年目

採用区分：一般職（大卒程度）

デジタル・電気・電子

自衛隊が使用する装備品に興味があり防衛装備庁を志望しました。現在はその装備品に関わり国の安全を守ることに直結する仕事に取り組んでいます。

一般職として働く

#### その道のスペシャリストになれる

研究所や試験場でじっくりと時間をかけて専門分野を突き詰めることができます。

#### 防衛装備品の試験に欠かせない仕事

専門的な知識や経験が求められる試験評価や施設運営の業務の中核となります。

（女性職員）入省3年目

採用区分：一般職（大卒程度）

デジタル・電気・電子

最先端技術を駆使し、安全保障に貢献できる点が魅力です。社会的意義のある仕事に従事し、国の安全を守る使命感がやりがいとなります。